

第Ⅱ部 平成24年度広島県合同輸血療法研修会の開催について

1 概要

広島県合同輸血療法委員会の設置目的である「医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、広島県内における輸血医療の標準化をめざすものとする。」に則り、血液製剤の適正使用、安全性に関する知識の向上及び有効利用のより一層の推進を図ることを目的として、次のとおり開催した。

2 開催結果

県内医療機関等から、158名（医師15名、薬剤師21名、看護師34名、臨床検査技師79名及びその他9名）の参加を得、特別講演として順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座教授 稲田英一先生をお招きして「『危機的出血への対応ガイドライン』を生かすために」と題して特別講演をいただいたほか、県内医療機関の輸血療法の状況に関するアンケート調査報告や医療機関の取組み事例発表等による研修を行った。

また、研修会終了後の参加者からのアンケート調査では、約6割にあたる91人から回答を得ており、研修の内容が有意義だったとの感想が多く、今後の継続を望む声が多かった。今後取り上げてほしい内容としては、病院の具体的な事例発表の継続、輸血医療の今後の方向性について、様々な職種の立場での発表等広範囲の内容が挙げられていた。さらに、開催地域や開催時間の要望も出されており、今後の開催方法を工夫していく必要性を感じた。

<開催概要>

1 日 時

平成25年2月2日（土） 15時～18時

2 場 所

広島県情報プラザ 多目的ホール（地下2階）
(広島市中区千田町3-7-47)

3 主 催

広島県合同輸血療法委員会（事務局；広島県、広島県赤十字血液センター）

4 共 催

日本輸血・細胞治療学会中国四国支部、(社)広島県医師会、(社)広島県病院協会、
(社)広島県臨床検査技師会、(社)広島県看護協会、(社)広島県薬剤師会、

5 参加対象者

医師、薬剤師、看護師及び臨床検査技師 等

6 演題及び講師

(閉会あいさつ)～広島県赤十字血液センター所長 沖田 肇
広島県合同輸血療法委員会委員長 高田 昇

第1部

「輸血療法に関するアンケート」調査報告

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科疫学・疾病制御学 教授 田中純子

第2部 医療機関からの事例発表

1. 「広大病院の輸血の現状」 広島大学病院准教授 藤井輝久

2. 「当院における輸血療法委員会の活動および現状報告」

国立福山医療センター 山本暖

3. 「当院での輸血療法委員会と輸血の現状」 庄原赤十字病院 佐藤知義

第3部 特別講演

「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために

順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座 教授 稲田英一先生

(閉会あいさつ)～広島県健康福祉局長 佐々木昌弘

7 資料

次ページ以下に掲載